

13160 保育実習 I A Nursery School Education Practicum IA		2 年次～ 通年 2 単位	
担当者	飛田 隆／大島 孝子	履修可能学科	Pc
		関連資格	保育必(P c)
サブタイトル	保育所における保育実習		
授業内容 ・ ねらい	<p>保育所実習を通して、乳幼児への理解を深め、保育所保育の意義と機能を理解し、保育士の職務を体験的に学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習施設の概要（沿革・組織・地域性など）を理解する。 2. 乳幼児の姿を体験的に理解する。（発達過程・個性・集団性と個性） 3. 保育士の職務内容を理解する。（保育・保護者への対応・地域子育て支援事業・職員間の連携） 4. 保育の方法や技術を身につける。（保育計画・保育技術・日誌・教材研究） 5. 保育需要の多様化について知る。（延長保育・障害児保育・乳児保育・一時保育・地域子育て支援事業等） 6. 理論と技術が実践の場でいかに具体化され、統合されるかを考え、今後の学習課題を明確にする。 7. 実習生として社会に関わる責任を自覚し、ふさわしい行動様式を身につける。 		
授業計画	<p>(1)事前に細菌検査をすませる。 また、実習施設を事前に訪問し、オリエンテーションを受けること。『保育実習の手引き』はよく読んでおく。</p> <p>(2)指定の11日間に保育所実習を行う。実習の進め方に関しては実習施設の指示に従う。</p> <p>(3)実習終了後には必ず礼状を出す。</p>		
教科書 参考書	必要に応じ、「保育実習指導 I」の中で紹介する。		
評価方法	実習施設の評価および実習日誌・実習終了後のレポート等を総合的に判断する。		
事前準備学習 履修条件等	「保育実習指導 I」を同時履修することが実習の必須条件である。		